

断水に備える【BCPの水】確保



地震などの大災害が発生した際、被災地で特に困窮することは、【安全な水の確保】です。

水は人間が生きていく中で大事になってきます。洗う、流す、飲む、食べる、命をつなぐ為に、衛生環境をよくする為に必要です。災害時には、限られた水資源を分配し、計画的に水を確保、使用していく事が大切です。

- ① 飲料水：生命維持に直結する飲料水を確保
- ② 衛生用水：手洗い、食器洗浄など
- ③ トイレ用水：最低限の衛生環境を維持する。
- ④ その他の用水：業務継続に必要な水

災害発生時の水確保は、企業のBCPにおいて重要です。普段から水を意識し、考え、確保する体制を作る環境が必要です。



能登半島での対応は続いております

令和6年1月能登半島地震から1年、令和6年9月能登半島豪雨から5カ月が経ちました。1日も早く、元の平穏な日常を取り戻せますよう心よりお祈り申し上げます。

弊社日本BCPも、復旧、復興に当たり、毎日、必要な個所に、必要数量の燃料を配送し、日々取り組んでおります。

1月は、記録的豪雪も重なり、寒さも厳しくなりました。車では行けない個所もあり、バギーを現場に投入し、給油作業を行う活動もおこなっております。

引き続き、安全第一で、復旧、復興に勤しんでまいります。

専門家に聞く

高層マンションや高層ビルの上層階へは、通常ポンプで水を供給しています。そのため、停電すると水が止まる可能性があります。大阪府では、過去10年間で「6階以上の建築物戸数」が22万戸増え、平成30(2018)年時点で125万戸に達しました。一部の建物では、高架水槽や非常用発電機を備え、停電時も給水できるようになっています。皆さんが生活されている建物は停電時にどうなるのか、確認してみたいかがでしょうか。

(関西大学社会安全学部 教授 奥村与志弘)



「総合防災・減災企業」として命をつなぐサービスを増進する



日本BCP株式会社

【東京本社】〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 番地 ism 神田 2 階
TEL:03-5289-0223/FAX:03-5289-0235
【大阪本部】〒599-8235 大阪府堺市中区深井東町 3099 番地
TEL:072-230-5888/FAX:072-230-5887

お問合せはこちら



当通信の文章・画像・図表等の無断転載・複製を禁止します